

情報発信等戦略の期間

令和 3 年度～令和 5 年度まで

情報発信等戦略

① 情報発信の内容
(テーマ)

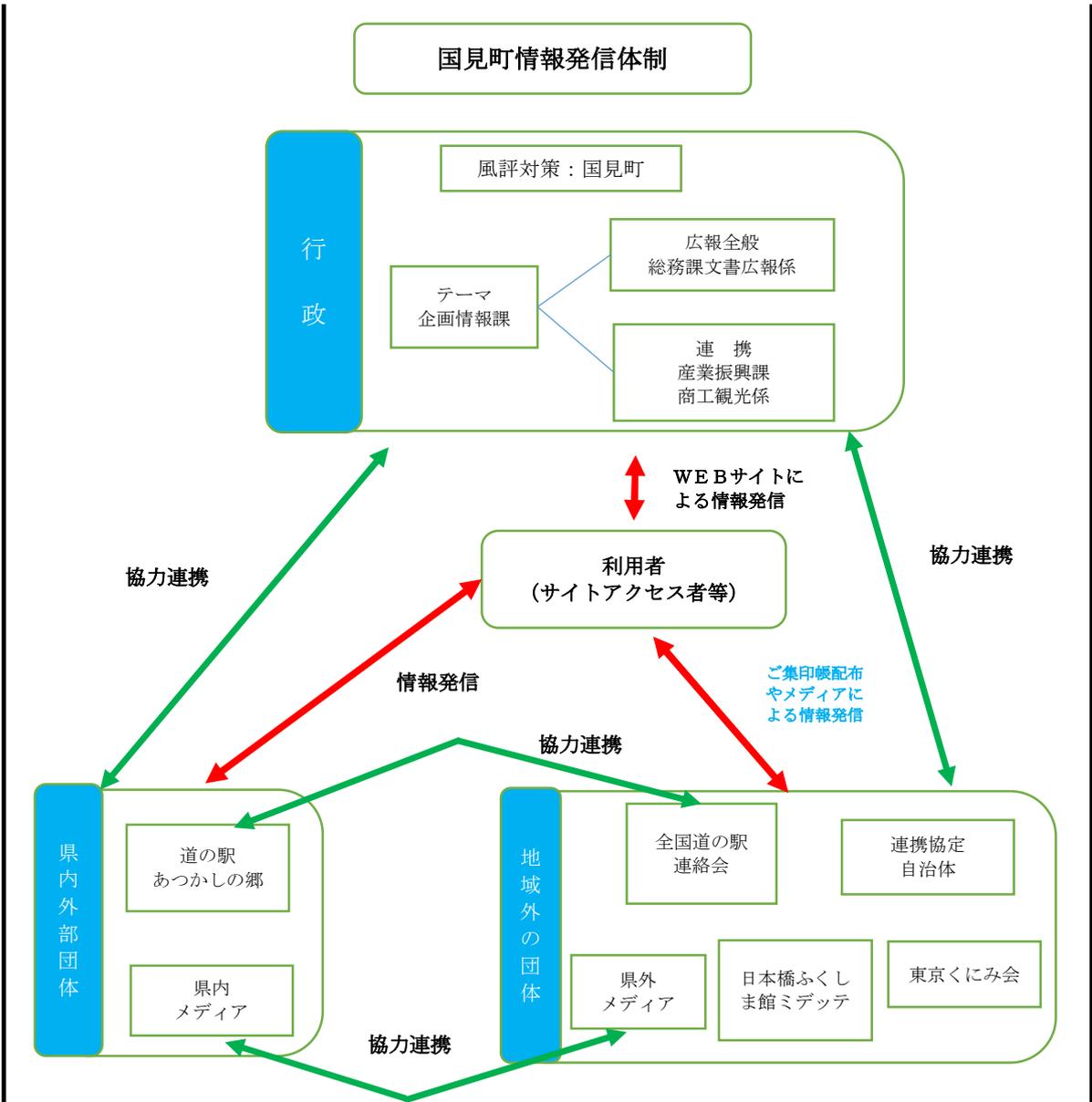
- ・原子力災害に関する風評払拭を図るため、本町の魅力ある文化財や観光施設を P R し、併せて本町の「食」「イベント」等を発信する「観光用音声ガイド(音旅)」が組み込まれたポータルサイトを開設する。
- ・観光を促す「ご集印帳」については、本町10ヶ所(「音旅」と整合性を図る)の観光施設を主に紹介しつつ、併せて本町の「食」や「イベント」を紹介する。さらに、QRコードを掲載し「音旅」への誘導を図り、全国どこでも御朱帳があれば、本町やふくしまの魅力を発信できるように図る。
- ・さらに、県外への情報発信を行うため、「音旅」サイトへアクセスするためのグーグルによる W E B 広告を用いて、ターゲットを絞りつつ広域的に配信を行う。

② 国見町の情報発信体制

- ・国見町企画調整課が主担当となり、国見町産業振興課観光担当部門と連携する。また、総務課広報部門の協力のもと、町公式ホームページやFacebook、広報誌等による発信を行う。
- ・県外におけるふくしまの魅力を P R する施設(日本橋ふくしま館ミデッテ等)に掲示、また、首都圏在住の本町出身者やゆかりのある方で組織する「東京くにみ会の会員」へご集印帳を送付し、サポーターとして本町を知らない県外在住者への周知を依頼し、情報発信を行う。
- ・本町に所在する「道の駅国見あつかしの郷」が持つ道の駅ネットワークを利用し、全国への周知を図る。
- ・広く一般的に利用されているグーグルの W E B 広告を用いて、ターゲットを絞りつつ広域的に配信を行う。
- ・連携協定を締結している町(北海道ニセコ町、岐阜県池田町、栃木県茂木町)へ情報発信の協力を依頼し、ご集印帳の配布を行う。
- ・地元メディアの県外ネットワークを活用し、首都圏等のメディアを通じた情報発信を行う。

③ 情報発信等の戦略目標

文化財や観光施設に関する情報発信等を中心に行い、併せて「食」や「イベント」等をより多くの人に発信し、より多くの人に本町に来てもらい、本町に関心を持ってもらう。



④ 全体工程表

